

進路指導だより

産業工芸科の校外販売会がありました

2月25日(火)に産業工芸科はコープさが新栄店で、授業で作った製品の販売会を行いました。

職業科では、キャリア教育実践の一つとして「製品づくり・販売学習」を継続して行っています。



校外販売会（校外販売学習）のねらい

- ① 販売を目的とする製品をつくることで生徒たちの就労意識や働く力を高める。
- ② 接客を通して、挨拶やマナー、聞こえる人とのコミュニケーションを実践し、社会参加の力を伸ばす。
- ③ 自分たちが作った製品をお客様に購入していただくことで働く意義や喜びを感じる。
- ④ 校外活動を通して、ろう学校や聴覚障害についての理解を広げる。

販売会のために製品づくりだけでなく、販売の準備や練習をしたり、チラシやポスターを作って配布したりと、職業科一丸となり頑張りました。

販売会当日は、開店前に長机を出したり商品を並べたりして会場準備を行い、開店後はレジや袋詰め、チラシ渡しなどの役割を果たし、笑顔で丁寧に接客することができました。

このような体験を通して、生徒たちに仕事の厳しさだけでなく働く喜びや意義を感じ取ってほしいと思います。また、ろう学校や聴覚障害への理解が広がり、生徒たちの一般就労や社会参加につながることを期待します。



被服科の校内販売会と卒業製作展を開催しました

産業工芸科と同日、被服科では校内で販売会とこの3月卒業する3人の製作展を行いました。産業工芸科と同様、キャリア教育実践の一つとして「製品づくり・販売学習」を継続して行っています。

販売の場所は校内でしたが、幼児・児童・生徒の皆さん、先生方、保護者の皆様、外部のお客様にきていただき、製品の説明をして納得して購入いただきました。



卒業予定者の移行支援会議が終わりました

今年3月卒業する生徒で、就職（就労）する生徒を対象に移行支援会議を開催しました。この会議は、卒業後の関係機関との連携を図り、今後の進路及び支援について共通理解をするために行っています。

関係機関として、進路先の企業（事業所）、ハローワーク、

障害者就業・生活支援センター、相談支援事業所等福祉担当、行政（市町の福祉担当）に参加していただきました。卒業後、スムーズに仕事を始めることができるよう、学校も関係機関も皆さんを応援しています！

